

◆◇ 第1号議案 ◇◆

令和5年度 事業活動報告 ～この1年間の取り組み

I 旭川市からの受託事業

1 障害者スポーツ関連事業について

(1) スポーツ部会

委員会：6月24日、8月19日

委員：矢島勇作（部長）、速水修、深田清三、丸山周三、増井智子、中村秀也
阿部龍雄、高橋耕三、芳野輝政、森山由香里、

(2) 事業内容

令和5年度 旭川障害者連絡協議会 事業状況						
事業名			実施日	場所	参加人数	備考
旭川市障害者スポーツ教室	水泳教室	5月開催	5月10日 ～5月31日	水浴訓練室	のべ 28人	各全4回 毎週水曜日実施
		10月開催	10月4日 ～26日		のべ 21人	
	モルック教室		8月27日		29人	モルックの変則リーグ戦
	レク・ボッチャ教室		2月4日	体育館	34人	レク・ボッチャ
	スカット・ボール教室		3月17日		28人	スカットボール フロアーカーリングの体験
旭川市障害者スポーツミニフェスタ			10月8日	体育館 会議室1	61人	午前中に縮小。3種目実施 実行委員会形式
旭川市障害者水泳記録大会			11月5日	水浴訓練室	98人	障害別種目別に実施
旭川市障害者スポーツ関連周知事業			8月～3月	各種障害者スポーツ全道大会等の情報発信		
※全道大会						
	夏季スポーツ大会			9月 3日	釧路	1人参加
	水泳大会			9月10日	札幌	6人参加
	卓球大会			11月20日	札幌	11人参加
	フライングディスク大会			9月30日	札幌	
	ボッチャ大会			8月 6日	江別	3人参加
	冬季スポーツ大会			3月10日	江別	1人参加
	ハンディーキャップスキー大会			3月17日	小樽	

2 障害者週間記念事業

(1) 文化部会

委員会：7月13日・7月20日

委員：武田久子（部長）、大内祥一、加藤健二、浅野眞一、今井一浩

(2) 実施内容

令和5年度 旭川市障害者週間記念事業 開催結果

1 「記念事業」の実施目的

12月3日から9日までの「障害者週間」を機会に、市民の間に広く障害者の福祉についての関心を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として記念事業を開催した。

2 今年度の考え方

(1) 今年のテーマ 「成年後見人制度について」

- ・高齢化が進むにつれ、障害者の当事者、家族にとっての将来への不安がより強くなり現実となってくることから、その不安に対応する公的制度として「成年後見人制度」があり、旭川市においても「旭川成年後見支援センター」を設置して運営体制が整備されている。
- ・制度の内容はどういうものか。そのメリット、デメリットは何か？など制度の利用の必要性を感じつつ、もう一步踏み込めない問題点などを一般的な事例等から制度を利用する場合の注意点などを聞いた。

(2) 障連協の取り組み方について

今回のテーマは、障害者自身に係るテーマであり、障連協の内部研修と位置づけて、各団体から2～3名の出席を協力依頼した。

3 令和5年度の実施内容

(1) 実施日時

ア日時 令和5年12月3日(日) 12時30分～15時30分

イ場所 旭川市障害者福祉センター おびつた 体育館 (参加人数約150名程想定)

(2) 来場者数

一般来場者数 80人 (各団体の参加者含む) 実行委員・ボランティア50人 合計130人

(3) 実施内容

アアトラクション① 12時30分～13時00分(40分) 神楽岡太鼓保存会

開会式 13時05分～13時25分(20分)

イ記念講演 13時30分～14時40分(70分)

○テーマ	「成年後見制度について考える」
○講師	旭川成年後見支援センター センター長 山本郁美

質疑応答 14時40分～15時10分(30分)

ウ閉会式 15時15分～15時30分(15分)

(3) その他の実施内容

- ・障害者就労事業所の作成作品の展示販売 5～6事業所等
11月22日～12月9日
- ・記念パネル展示 旭川市役所 新総合庁舎1階展示コーナー

- (4) 主催等 主催：旭川市 事業実行者：NPO法人 旭川障害者連絡協議会
後援：旭川市社会福祉協議会

3 旭川市障害者福祉センター指定管理事業

(1) 施設管理とサービス向上

- ア「みんなの声」投書の中で実現可能な要望は、直ちに実行する
毎月投書箱を確認し利用者の声を出来る限り反映できるよう意見を検討している
イ 早期点検、計画的にメンテナンス等により保守点検コスト削減を行うと共に、施設内機器を良好な状況に保ち、職員のコスト削減意識の向上に努めた
ウ 朝のミーティングを実施し、職員の研修の機会としている

(2) 利用状況

ア利用人数

	団体利用		個人利用		合 計	
	今年度	前年度比	今年度	前年度比	今年度	前年度比
障害者等	36,359	7,192	14,611	351	50,970	7,543
一般	13,203	-1,972	26,142	2,258	39,345	286
合計	49,562	5,220	40,753	2,609	90,315	7,829

イ利用料金

	今年度	前年度比
障害者等	2,690,750	465,150
一般	5,752,680	169,330
合計	8,443,430	634,480

ウ減免金額

	今年度	前年度比
障害者等	996,560	-29,660
一般	7,190	-1,530
合計	1,068,470	-31,190

(3) 防犯、防災

ア 防犯対応

- ①夜間・休日の機械警備を継続実施。
 - ②日中、職員による定時点検確認作業
- 防犯対応については、計画通り①・②ともに良好に行われている。

イ 防災対策

- ①当該センター消防計画の策定及び防火対象物点検を実施する。
- ②事故の無いよう事前の消防訓練等実施（年2回以上）
- ③AED使用の自主訓練（随時）

II 自主事業関係

1 広報事業

(1) 広報部会

委員会 12月28日
委員：川村和恵（部長）、巻下理奈、中村幹子、
場所：おびった3階 相談室2

(2) 障連協にゅーす

51号・52号の発行。

(3) ホームページにより下記の内容が随時更新

アドレス <http://shourenkyo.org/>

- ①活動紹介＝解説以来の行事の紹介
- ②障害者スポーツ大会関連情報＝全国・全道レベルの障害者スポーツ大会の情報提供
- ③ボランティア募集＝各事業に合わせて随時募集情報を提供する
- ④障連協にゅーす＝PDFファイルで1号から52号まで閲覧可能
- ⑤障害者スポーツバンク＝市内の9団体の活動内容が閲覧可能
- ⑥新着情報＝各行事等の情報発信

2 清掃事業

- ・旭川市競争入札参加資格者に登録 令和3年7月9日付
令和6年度の市施設からの清掃業務入札指 受託1件

3 総務部会関係事業

総務部会

委員会：5月10日

委員：岡田美幸（部長）、長谷川優司、大山嘉孝、北野和彦
理事長・副理事長・事務局長

- ・新年交礼会の開催 令和6年2月3日 11時～13時 参加人数53人

III 要望事項及び共同行動

1 要望事項

- (1) 情報・コミュニケーション法（仮称）制定を目指し要望
- (2) 旭川市自立支援協議会の充実・強化
- (3) 成年後見制度の支援
- (4) 障害者雇用・生活支援センターの支援
- (5) 公共施設等の清掃や公園管理への参入
- (6) 旭川障害者計画のバリアフリー公営住宅の拡充。単身者も含む。
- (7) 地場産品販売施設計画への加入

※各項目とも協働行動や意見交換会を通じて要望支援等を継続に行っている。

2 協働行動

参加委員会等	推薦委員		任期
(1) 旭川市社会福祉審議会委員	松山理事長	上田育成会事務局長	R6.5.9
(2) 旭川市障害者自立支援審査会委員	青山副理事長	高畑身障協会会長	R7.3.31
(3) 旭川市社会福祉協議会理事	神田事務局長		R6.6
(4) 旭川市福祉有償運送運営協議会委員	神田事務局長		R7.3.31
(5) 旭川市特別支援教育推進懇談会	父母の会	自閉症児者親の会	R7.3.31
(6) 旭川市防災会議委嘱委員	松山理事長		R7.3.31
(7) 旭川市共同募金委員会評議員	松山理事長		R7.3.31
(8) 旭川成年後見支援センター運営委員会委員	青山副理事長		R7.3.31
(9) 旭川市包括的支援体制整備検討会委員	神田事務局長		R6.6